



たけちゃん通信

子どもたちの明るい未来を耕す!



新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を!

私は、4年前「新倉・下新倉地域に小・中学校建設を要望する会」代表に就任しました。そして平成20年6月2日に、和光市長・和光市議会・教育委員会に賛同者署名と陳情書を提出しました。その結果、6月19日市議会、6月20日教育委員会ともに採択されました。そして市議会で採択された結果を市長部局に上げられました。

1年間が経った平成21年6月4日に、第1回和光市立小・中学校の適正配置・適正規模等検討委員会が行われました。私も検討委員会副委員長として参加しました。この委員会は3回にわたり行われ、第3回検討委員会で答申がまとまりました。その後、和光市教育委員会 教育委員長へ答申いたしました。

昨年平成22年8月に小学校新設場所が決定され、地権者への挨拶がありました。9月には市長の地権者への挨拶があり、現在に至っています。学校建設は順調に進んで最低5年はかかると言われていますが、陳情し、採択されて4年が経とうとしています。小学校の建設場所は決まったとしても、後は何ひとつ決まっていません。

子どもが多い時には学校が必要で、子どもが成長すれば、少子化に伴いお年寄りが多くなります。その時に学校をお年寄りの施設・介護施設等に変更出来るシステムで設計・計画していくことが大事だと考えています。実際に戸田市などでは実施しているシステムです。いま学校が必要ですが、将来お年寄りの施設が必要な時に活用できるようにすることにより、(公共施設を市民ニーズに合わせて、柔軟に対応出来る仕組みづくり) 先行投資の分も含めればかなりの経費削減と節税になると考えています。

また、中学校に関しては、まだ何ひとつ決まっていません。私は平成23年1月31日に上田きよし埼玉県知事を訪問し、和光高校を中・高一貫校に出来ないか、または、和光高校を和光市へ移譲して頂き、和光市立中学校・高等学校に出来ないかとお願いをいたしました。知事には、早く出来る方法を調査し、検討するとのお返事を頂きました。「和光市は小学校建設にもお金が掛かるため、中学校も建設するのは難しいだろう」と、中高一貫校についてとても前向きなお話をして頂きました。

和光市政を耕す

1 commitment 通学路の整備と交通指導員の増員により、安全対策の強化を!

見通しの悪い交差点や事故多発交差点に吊り下げ式信号(赤と黄色の点滅)を設置し、子どもたちが安全に登下校できる道路・歩道の整備を推進します。また、交通指導員を増やし、大人が子どもたちを見守ることで安全対策を万全なものにします。

2 commitment 子どもたちの才能を伸ばすスポーツ施設を!

外環道路の和光北インターチェンジの近くにある下水道処理場の上に、運動施設(野球場、サッカー、テニスコート、多目的広場)をつくる「アーバンアクア広場整備事業」を推進します。

子どもたちの明るい未来を耕す!

病児保育や夜間保育の充実で保護者の就労支援を! 待機児童ゼロを目指し保育園を新設。

昨今、景気低迷で共働きしている家庭が多いなか、子どもを預けて働きに出たくても保育園の順番待ちをしなければならない方、または民間保育所の保育費が高く働きに出ることの出来ない方がたくさんいらっしゃいます。

近年、定職に就きながら子育てをする女性が多くなっています。母親としてある程度の年令まで自分で育てたいという思いは皆同じだと思います。産休は通常1年間で、自分である程度の年令まで育てるには退職するしかありません。子育てが終わるころには、再就職は難しいのが現状です。女性が定職を持ちながら安心して子育てするために、保育施設・病児保育の充実が必要不可欠だと考えます。

大学卒業まで子どもを育てるのに、最低3,000万円は掛かると言われています。吉田たけしは、仕事を辞めなくても子育てできる支援・環境を作ります。待機児童ゼロを目指し、保育園の新設を要望し、病児保育、延長保育、夜間保育の実施を推進していきます。



和光市の病児保育の現状

現在、和光市では、みなみ保育園が病後児保育を実施しています。認可保育園等に通所している乳幼児、もしくは保育クラブに通所している児童で病気の回復期にあり、医療機関による入院加療の必要はないが、安静を要するため集団保育が困難な場合(1日4名、小学生は原則1名で3年生まで)に限っています。

病児保育施設となると、和光市にはまだ1カ所も存在しないのが現状です。首都東京には50カ所以上の病児保育施設がありますが、埼玉県には18カ所しかありません。ベッドタウンとして、首都近郊に働きに出る保護者が多数いる和光市において、これは福祉の不備であると言わざるを得ません。

子どもたちと保護者のため病児保育施設を!

子どもたちが風邪を引いたり、熱を出したりしたとき、保育園では受け入れてくれない場合がほとんどです。そのため、仕事を休むことを余儀なくされる保護者の方が大勢いらっしゃいます。仕事を休む事により職場・同僚に負担をかけることが出来ない方など、いろいろな事が考えられますが、吉田たけしは、子どもが病気になったときにも安心してあずけられ、心配なく働きに出られるための病児保育施設を我が市に設置したいと考えます。市が子どもたちと保護者の両者をサポートして初めて、安心して暮らせる街づくりが実現できるのです。



吉田たけし commitment < 4つの柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保護者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区画整理事業の早期完成を目指します。

吉田たけし 後援会 会長 柳下茂 〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1
TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369 <http://www.takechan-yoshida.jp>



和光市政を耕す